

住宅用火災警報器を必ず設置しましょう

問い合わせ
消防本部予防担当 (☎ 9 6 1 1)

住宅用火災警報器はなぜ必要？

住宅火災により、毎年多くの方々の尊い命が犠牲となっています。そのうちの大半が『逃げ遅れ』によるもので、就寝時間帯に発生した火災で多くの方が亡くなっています。

住宅用火災警報器は『逃げ遅れ』による死者の発生を防ぐため、平成23年から、全ての住宅に設置が義務付けられています。

住宅用火災警報器とは？

火災の発生を早期に感知し、警報音や音声で知らせる機器です。

現在は警報器が連動し、全ての警報器が火災信号を受け警報を発するタイプがあり、火災の早期発見に効果的です。

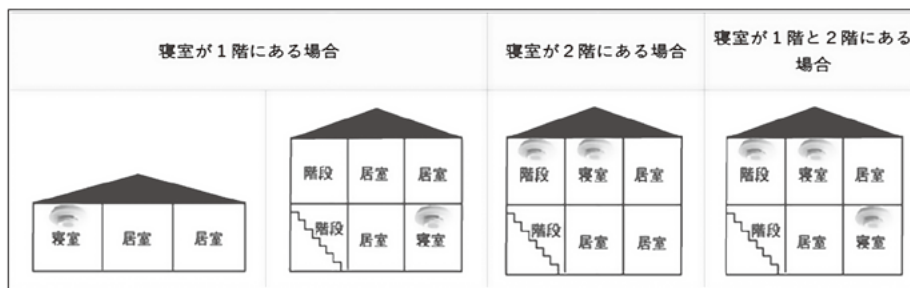


住宅用火災警報器はどこに付けるの？

住んでいる方が普段就寝に使用している部屋に煙型感知器を設置します。

2階で就寝している場合は階段にも設置が必要です。

※来客が使用する部屋を除く。



住宅用火災警報器は設置すれば安心・安全というわけではありません。

いざという時に故障や電池切れで、警報音などが鳴らないと意味がありません。

家電製品の標準的な使用期間は、一般的に7年から10年といわれていますが住宅用火災警報器も同様です。

電子部品の劣化や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあり、とても危険です。

定期的にボタンを押したり、ひもを引いて正常な音声が届くことを確認しましょう。

また、製造から10年を経過した警報器は本体ごと交換をしましょう。

点検方法

ボタンを押す又はひもを引く



消防職団員や市職員が住宅用火災警報器や消火器、防災グッズなどの訪問販売を行うことはありませんのでご注意ください。

第21回 チャレンジ!! ゼロカーボン

アプリやウェブサイトを利用して 脱炭素に取り組んでみませんか

北海道ゼロチャレ！家計簿

自宅のエネルギーの使用量や二酸化炭素排出量、光熱費を『見える化』

このアプリは、自宅の電気、水道、ガソリンなどの使用量や料金を入力することで、二酸化炭素排出量や光熱費を見える化することができます。



北海道のウェブサイトからインストール



初期設定



毎月の入力



自宅の成果がまるわかり
●削減効果 ●12カ月グラフ
●省エネ情報やお知らせ機能

家庭エコ診断制度『うちエコ診断』

各家庭のライフスタイルに合わせた具体的なかつ効果的な省エネや地球温暖化対策の提案が受けられるサービスです。

『うちエコ診断』では、二酸化炭素排出量の減少や光熱費が削減できる取り組みが分かり、パソコンやスマートフォン、タブレット端末から『うちエコ診断WEBサービス』で簡単に診断することができます。



▲うちエコ診断ウェブサービス

問い合わせ 環境対策グループ (☎ 2 9 5 8)

市職員出前フリートークをご利用ください

5～20人程度のグループのもとに市職員が伺い、市の仕事や制度などを分かりやすく紹介します。また、まちづくりや、身近な課題などについて懇談することもできます。

テーマは自由です。『おすすめメニュー』も活用ください。

令和7年度のおすすめメニュー

- ①段ボールベッド組み立て体験
- ②性の多様性の理解促進に関する研修会
- ③脱炭素に関連した各種補助制度を始めたとするゼロカーボンシティに向けた市の取り組みの紹介
- ④ごみの分別について
- ⑤『生きることを支えあう』ゲートキーパー研修
- ⑥フレイル予防出前講座
- ⑦縄文出前講座
- ⑧資料が語る登別の歴史
- ⑨防火懇談会
- ⑩救急適正利用と救急活動

申し込み 秘書広報グループ
(☎ 6 5 8 6)